

はじめに

いわゆる「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」）を多面的・総合的に評価する大学入試として導入された共通テストは、導入から時を重ね、現在では制度として定着しています。30年以上続いたセンター試験時代の「筆記」は「リーディング」へと変わり、文字通り英語を読むことに特化した科目としての位置づけが明確になりつつあります。

制限時間80分はこれまでと変わらないものの、目を通さなければならぬ英語は、問題の指示文や設問まで含めると6,000語前後となり、多くの受験生が対策の難しさを感じています。一方で、分量や見た目は異なっても、「概要を把握する、詳細情報を得る」などの読み方は共通テストに限らずリーディングで一般的に求められるスキルであり、本質的なところでは変わりません。空所補充などのある私立大の読解問題よりも、むしろよどみなく英文を読み進められるとも言えます。

本書では、近年の本試験・追試験で出題された問題を徹底分析し、知識・技能の習得はもとより、思考力や判断力を鍛えることができるよう、本文・設問選択肢について、共通テストと質的に等しいオリジナル問題を作成し収録しました。合計4回分に相当するリーディング問題は単元別に並べ替えてあり、共通テストに向けて無理なく着実に学習が進められるよう配慮されています。

本書を活用することで、共通テストに対する受験生の不安が払拭され、万全の準備が整うと共に、リーディングで試される思考力・判断力・表現力が一層養われることを願ってやみません。

新井 良雄（横浜国立大学）

トラビス・ホルツクラー（開成中学・高等学校）

●英語の「リーディング」について

❖ 「リーディング」とは？

共通テストの英語「リーディング」では、問題作成の方針の柱の1つに「様々なテクストから概要や要点を把握する力や必要とする情報を読み取る力等を問うことをねらいとする」とあります。

したがって「英語を読む」 = 「下線部訳や空所補充の問題」と考えることを否定はしないまでも、共通テストに取り組む際には、それでは決して十分ではなく、目的に応じて、さまざまな視点を持って取り組むことが重要です。

(a) 概要を把握する	(b) テーマ / 主張を押さえる	(c) 詳細情報を得る
(d) 意見・事実を区別する	(e) 類似・相違に気づく	(f) 時間順序を意識する
(g) 題材から推論する	(h) 要約する	(i) 原因・結果をつかむ

特に、上記(a)～(c)は「内容一致」の問題でよく目にするもので、新しい視点ではありません。(d)・(e)も特殊な読み方を求めているものではありませんが、下線部訳や空所補充のみに取り組んでいると、リーディングにおいておろそかになりがちな視点です。

以下に、上記(a)～(i)の例を、2025年度本試験で出された問題から取り上げてみましょう。

(a) Which of the following did all the guest speakers agree on? 4 [第2問 問1]

→概要を把握していなければ正答できない設問。

(b) Choose the best heading for 37. [第7問 問5]

→文章全体のテーマ・主張を押さえる設問。

(c) Which of these titles best match Professor Ryan's descriptions for Presentation 2 (19) and Presentation 4 (20) based on the morning and afternoon themes?

[第5問 問2]

→ 詳細情報（内容の対応関係）を正確に読み取る設問。

(d) Both Christine and Victor mention that space exploration 39 . [第8問 問2]

→ 事実と意見、または話者間の一致点・相違点を区別する設問。

(e) Choose the best options for 34 and 35 . (The order does not matter.)

[第7問 問3]

→ 類似・相違の整理（条件比較）を行う設問。

(f) Choose **four** out of the five options (① ~ ⑤) and put them in the order they happened.

9 → 10 → 11 → 12

[第3問 問2]

→ 時間順序（出来事の前後関係）を意識させる設問。

(g) How did the band most likely feel after the competition? 13 [第3問 問3]

→ 題材（文脈）から心情を推論する設問。

(h) Based on Comment (2), which is the best sentence to add? 15 [第4問 問2]

→ 要約し主張をまとめする設問。

(i) Based on Source A, which of the following is the most appropriate for REASON 2?

43

[第8問 問4]

→ 原因・結果の関係をつかむ設問。

実際のところ英文を読む際は「概要を把握し、テーマを押さえる中で、あわせて類似点や相違点を整理していく」など、複数の点に注意しなければならないことがあります。その上で、漫然と英文を読むのと、上に挙げたような9つの視点で英文を読むのとでは、その理解において大きな差となって現れるることは明らかであり、解答に要する時間が異なってくることも容易に想像できるでしょう。

●本書の構成

本書は、英文のジャンルや分量、問題構成と難易度について、2021年度以降の本試験・追試験を踏まえ、単元別に問題を配列しています。

単元ごとの問題の特徴は以下の通りです。

第1章 (⇒共通テスト 第1問の類題)

▶ **日常的な英文の読解 (CEFR-A2程度)** [目標解答時間: 約4分] 計4題
ウェブサイトや予定表などが題材です。

第2章 (⇒共通テスト 第2問の類題)

▶ **多様な意見が示された身近な話題の記事の読解 (CEFR-A2程度)** [目標解答時間: 約5分] 計4題
身近な話題に関して平易な英語で書かれた記事とコメントなどが題材です。

第3章 (⇒共通テスト 第3問の類題)

▶ **エッセイ風読み物の読解 (CEFR-A2程度)** [目標解答時間: 約5分] 計4題
平易な英語で書かれた異文化体験記など、短い物語が題材です。

第4章 (⇒共通テスト 第4問の類題)

▶ **エッセイ推敲読解 (CEFR-A2程度)** [目標解答時間: 約7分] 計4題
身近な話題やなじみのある社会的な話題に関する、生徒が書いたエッセイが題材です。添えられた教師のコメントをもとに、接続詞や結論文、修正フレーズを選び、論理的な英文を完成させる問題です。

第5章 (⇒共通テスト 第5問の類題)

▶ **図表やグラフを伴った社会的テーマの記事と、その記事に対する論評 (CEFR-B1程度)** [目標解答時間: 約11分] 計4題
複数の記事、レポート、資料が題材です。図表を伴います。

第6章 (⇒共通テスト 第6問の類題)

▶物語の読解 (CEFR-B1程度) [目標解答時間: 約16分] 計4題

物語や伝記などが題材です。情報をまとめて発表するポスター や発表用メモ、資料を伴います。

第7章 (⇒共通テスト 第7問の類題)

▶社会的テーマの論説文読解 (CEFR-B1程度) [目標解答時間: 約16分] 計4題

身近な話題やなじみのある社会的な話題に関する記事やレポート、資料などが題材です。発表用資料上の空所を補充する設問、正しい図表を問う設問に備えます。

第8章 (⇒共通テスト 第8問の類題)

▶多資料統合読解 (CEFR-B1程度) [目標解答時間: 約16分] 計4題

公共性のある話題や社会的なテーマに関する複数の意見や資料が題材です。提示された情報を整理し、3つの手順を通して自分の立場をまとめ、レポートのアウトラインを完成させる問題です。

❖目標解答時間について

上記時間に「解答見直し時間」は含まれません。また、マークする時間を含めた時間としています（最後に一気に解答をマークシートに転記する想定ではありません）。時間（各題）はあくまでも目安であり、取り組みの基本姿勢は、正確に読み、正確に解答することです。

❖CEFRについて

CEFRとは、外国语の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参考枠のことであり、A1, A2, B1, B2, C1, C2の6等級があります。この6等級は、更に3段階（「基礎」段階の言語使用者（= A1, A2）、「自立した」段階の言語使用者（= B1, B2）、「熟達した」段階の言語使用者（= C1, C2））に分けられ、A1が最も基礎のレベルに、C2が最も発展したレベルにあります。共通テストでは、題材としてA1からB1のレベルで問題が作られることとなっています。わかりやすい説明として、A1が英検3級レベル、A2が英検準2級レベル、B1は英検2級レベルです。但し、CEFRの各等級、英検の各級どちらにも幅があるので、これらの対照はあくまでも目安であり、参考程度に捉えてください。

●英語（リーディング）のエッセンスと今後の学習のあり方

共通テストは一部の大学入試や英語外部検定試験と異なり、一定の形式が認めづらいところが受験生にとって難しいと感じる理由の1つになっています。しかし、英語を用いて情報を理解し、考え、表現する力を測るという理念は一貫しています。したがって、形式に慣れただけでなく、変化にも対応できる「英語を使う力」を重ねて養うことが重要です。英語（リーディング）のエッセンスをまとめると次の通りになります。

① 実際のコミュニケーション場面を重視

「目的や場面、状況に応じて情報を読み取る」力を測ることが主眼。授業や実生活での英語使用を意識した設定（例：広告、レポート、意見文など）となっている。

② 多様なテクスト形式と題材の採用

広告・記事・物語・意見文・グラフ・教師コメントなど、多様な種類の英文。実用文に偏らず、物語的・社会的・科学的題材も含まれている。

③ 図表や複数資料を組み合わせた複合的読解

「文章と図表の複合的読み取り」や「複数資料の比較・統合」形式。情報を整理・要約・比較する能力を問われる。

④ 「書くこと」と統合した出題（新課程を踏まえた問題）

教師のコメントをもとに作文を推敲したり、複数の資料から自分の立場を整理したりする形式。読む力と書く力を結び付けながら、思考を深め、論理的に表現する力を測ろうとしている。

このように、共通テストは多様な形式を通して「英語を使って考える力」を多面的に測る試験として設計されています。そのため、受験生は目的・場面・状況に応じて英語を理解し、考え、表現できる力を養う学習を進めていくことが求められます。形式に「慣れ」ながらも、形式に「偏らない」よう意識して学習を進めることが肝要です。

CONTENTS

第1章

問題 1～4 (1～12) 10

第2章

問題 1～4 (1～20) 20

第3章

問題 1～4 (1～21) 36

第4章

問題 1～4 (1～16) 44

第5章

問題 1 (1～6) 60

問題 2 (7～12) 64

問題 3 (13～18) 68

問題 4 (19～24) 72

第6章

問題 1 (1～8) 76

問題 2 (9～16) 82

問題 3 (17～24) 88

問題 4 (25～32) 92

第7章

問題 1 (1～5) 96

問題 2 (6～10) 100

問題 3 (11～14) 106

問題 4 (15～19) 110

第8章

問題 1 (1～7) 114

問題 2 (8～14) 122

問題 3 (15～21) 130

問題 4 (22～28) 138

1 In English class, you are writing an essay on a topic related to daily routines. This is your most recent draft. You are now working on revisions based on comments from your teacher.

(1) Walking

We all want to enjoy more active and healthier lives. Luckily, walking is an easy-to-do activity that improves our lives greatly. In fact, research shows that for every one hour we walk, we increase our lifespan by two hours. This is especially true when we make walking part of our morning routine. In this essay, I will introduce some of the benefits.

Firstly, when we go for a morning walk, we increase our energy levels. This increase lasts throughout the day and is even more efficient than a cup of coffee. Of course, not everyone can find the energy to go for a walk in the morning. ⁽²⁾ A

Secondly, when we are walking in the fresh air, our minds become clearer. This mental clarity helps us with our thinking. For example, many people feel that they become more creative and even solve problems more easily on their morning walk.

Lastly, there are also many health benefits we gain from these walks. With regular morning walks, people get fewer colds or other illnesses. ⁽³⁾ A Regular walkers tend to recover faster when they do get sick. This is true even if you are just taking a 20-minute morning walk five times a week.

Comments

(1) This title isn't the best description. Please rewrite it.

(2) You need a concluding sentence for this paragraph.

(3) Add an expression to connect this to the sentence before it.

In summary, adding a quick walk to your morning routine will improve your quality of life. It will energize you for the day, help you ⁽⁴⁾ mentally, and even help you reduce the risk of sickness. So, if you want to improve your life, it may be as simple as waking up for a walk.

(4) The underlined word doesn't summarize your idea well enough.
Try again.

Overall Comments:

This is better than your first draft. Just look at the suggestions and make appropriate changes. And by the way, I think I'll start such a routine soon.
Thanks! ☺

問1 Based on Comment (1), which is the best title? 1

- ① Best Walking Techniques
- ② Regular Morning Walks
- ③ Walking and Physical Health
- ④ Walks and Your Mental Well-Being

問2 Based on Comment (2), which is the best sentence to add? 2

- ① Alternatively, a quick swim instead of a walk may work well.
- ② However, most people experience an energy boost with their first few steps.
- ③ Therefore, waking up earlier than usual is a good idea.
- ④ This means that a walk has fewer benefits in the morning.

問3 Based on Comment (3), which is the best expression to add? 3

- ① As a result,
- ② In contrast,
- ③ Moreover,
- ④ Nevertheless,

問4 Based on Comment (4), which is the best explanation to replace the underlined word? 4

- ① come up with healthier mental habits
- ② see things around you more clearly
- ③ think through your problems with greater ease
- ④ understand the causes of your problems

1 You are working on an essay about **youth sports**. You will follow the steps below:

Step 1: Read a range of opinions gathered from the Internet about participating in youth sports.

Step 2: Take a position on youth sports.

Step 3: Create an outline of your essay using additional sources.

► [Step 1] Read a range of opinions

Jessica (high school principal)

School sports programs play a big role in education and provide many types of students with opportunities to experience success. This is still true today, and participation rates remain high. However, with all the equipment, uniforms, and travel, the costs have become a burden for many families. Although schools can help cover some of these costs, they still prevent many families from signing their child up for a sport. This means that chances to benefit from youth sports are not available to all.

Miguel (middle school teacher)

These days, maintaining physical health can be challenging, especially for the youth. Youth sports are one way society deals with this modern issue. However, with attention on physical health, I feel the social side of sports is overlooked. Through sports, young people learn how to cooperate with teammates, and these skills carry over into the classroom and help improve group-based learning. As many students struggle socially in class, this aspect of youth sports is as important as the physical one.

Naoto (parent of a teenager)

Our family recently moved to a new community. At first, our daughter was excited about her new school but soon started to feel isolated as making friends was difficult for her. This isolation even affected her grades as she lacked motivation to study. That all changed once the swimming season started and she joined the team. Being able to make some friends really helped, not only socially, but also academically. I think the fact that she was part of a group went a long way in helping her find success at school.

Timothy (social researcher)

In the past, athletic scholarships for university helped close the wealth gap between rich and poor. This is because previously, all students, regardless of their family's income level, could improve their skills and strive to be a top student athlete through hard work. Today, however, there are many non-school-related youth programs that offer specialized training and coaching. Unfortunately, these programs are expensive and beyond the reach of most middle-income and low-income families. This gives advantages to students from wealthy families and takes away the equal opportunities we once enjoyed in youth sports.

Vennesa (university professor)

The world has more sports today than ever before. This is because the definition of sport has expanded to include competitive mental activities. Examples of these “mind games” include board and card games, but also more academic activities like math competitions. Another activity that is popular with the youth is esports, which has grown rapidly and now sees tournaments attended by top individuals and teams from around the globe. Whether or not these mind games are as healthy as traditional physical sports is still up for debate, though.

問1 Which of the following best expresses Timothy's opinion? 1

- ① Fairness is essential.
- ② Investing in the future.
- ③ Solutions through sports.
- ④ Wealth is health.

問2 Both Miguel and Naoto mention that youth sports 2.

- ① allow students to develop social skills and have a positive impact on academic results
- ② are becoming more popular and are a great way for students to develop physically
- ③ help students manage time, especially with the balance between academics and athletics
- ④ strengthen society as they help students learn various values found in sportsmanship

►[Step 2] Take a position

問3 Now that you have understood the various opinions, you have taken a position on youth sports and written some notes below. Choose the best options to complete — . (You must have all of — correct to get points.)

POSITION: Participation in youth sports should not be required.

- and opinions support this the most.
- An argument common to both these two people is that .

Options for and (the order does not matter) :

- ① Jessica's
- ② Miguel's
- ③ Naoto's
- ④ Timothy's
- ⑤ Vennesa's

Options for :

- ① many families can no longer afford the sporting equipment needed for some sports
- ② not every student can equally benefit from opportunities in youth sports due to finances
- ③ public schools do not have a budget for school sports programs, which is unfair
- ④ students from wealthier families have more opportunities to excel in sports

►[Step 3] Create an outline of your essay

Essay outline

Reconsidering Youth Sports in Light of Social Trends

Introduction

Without a doubt, youth sports programs benefit many students, but these programs should not be required for the following reasons:

Body

REASON 1 from Step 2, based on evidence from the opinions in Step 1

REASON 2 (), based on evidence from Source A

REASON 3, based on evidence () from Source B

Conclusion

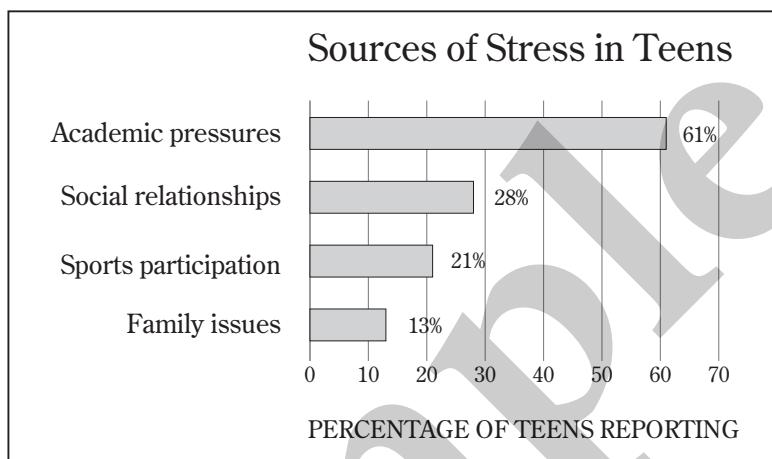
Based on all of these factors, participation in youth sports should not be a requirement within the school curriculum.

Source A

Organized youth sports are as popular as ever, a trend that shows no sign of slowing down. However, hidden behind the excitement is something concerning: an increase in injuries among participants. In fact, over 3.5 million youth athletes receive medical treatment for a sport-related injury annually in the U.S. Most concerning is that from 2020 to 2023, there was an average yearly increase of 11.3% in these injuries. Why is this? Doctors have shown that a change in how youth participate in sports is to blame. In the past, young athletes played different sports throughout the year but took breaks during the off-seasons between those sports. This allowed the athletes to develop their bodies in a balanced way and get needed rest. In contrast, today's trend is to specialize and train year-round, which leads to unbalanced physical development and fatigue. This means young athletes are overusing and exhausting certain muscles, making them easier to damage and leading to the increased number of injuries.

Source B

Stress levels among teens have been increasing over the past several decades. In 2023, it was reported that the number of teenagers who struggle with stress or anxiety on a daily basis now stands at 70%. The graph below compares the main cause, academic pressures, with three other common causes.



問4 Based on Source A, which of the following is the most appropriate for REASON 2? 6

- ① Although new training methods are improving youth sports, there are still too many injuries.
- ② Playing a variety of sports throughout the year leads to physical fatigue in young athletes.
- ③ Specialization in youth sports has created competitive matches but also an increase in injuries.
- ④ There are more injuries today due to recent changes in how young people participate in sports.

問5 For REASON 3, you have decided to write *Youth sports have caused teen stress levels to rise, and therefore, schools should set limits on them.* Based on Source B, which option best supports this statement?

7

- ① Although schoolwork is the leading cause of stress in teens, there are just as many who feel participating in sports causes stress in their daily lives.
- ② If the number of teens who feel sports causes stress in their life continues to rise, sports will become a greater concern than family situations are now.
- ③ The data show that academics, relationships, and family issues are less of a concern in teen stress levels than sports participation is now.
- ④ While relationships with friends and the need to perform well at school are the leading causes, sports cause about one in five teens daily stress.

第4章

ライティング課題に 取り組んだ英文（エッセイ）

1

全訳

英語の授業で、あなたは毎日の習慣に関するテーマについてエッセイを書いています。これがあなたの最新の下書きです。あなたは今、教師のコメントに基づき修正作業を行っています。

(1) ウォーキング

私たちは皆、より活動的で健康的な生活を楽しみたいと願っている。幸いなことに、ウォーキングは私たちの生活を大いに向上させる、簡単にできる活動である。実際、研究によれば、私たちは1時間歩くごとに寿命が2時間延びるという。これは、ウォーキングを朝の日課の一部に取り入れた場合に特に当てはまる。本エッセイでは、いくつかの利点を紹介する。

第1に、朝のウォーキングに出かけると、活力のレベルが上昇する。この上昇は一日中持続し、コーヒー1杯よりもさらに効果的である。もちろん、誰もが朝のウォーキングに出かける元気があるわけではない。

(2) ▲

第2に、新鮮な空気の中を歩いていると、心がすっきりする。この心の明瞭さは、思考を助ける。たとえば、多くの人が、朝のウォーキング中により創造的になったり、問題をより簡単に解決できるようになったりさえすると感じている。

最後に、これらのウォーキングから得られる多くの健康上の利益もある。規則的な朝のウォーキングによって、風邪や他の病気にかかる回数が減る。(3) ▲ 定期的に歩く人は、病気にかかった場合、より早く回復する傾向がある。これは、週に5回、20分間の朝のウォーキングをするだけの場合でも当てはまる。

まとめると、朝の日課に短いウォーキングを加えることは、生活の質を向上させる。それは、一日の活力を高め、(4) 思考する上で助けとなり、さらには病気のリスクを減らす助けにもなる。そういうわけで、もし生活を向上させたいのであれば、ウォーキングのために起きることが最も簡単な方法かもしれない。

コメント

- (1) このタイトルは最適な表現とは言えません。書き直してください。
- (2) この段落には結論文が必要です。
- (3) これを直前の文とつなげる表現を追加すること。
- (4) 下線部の語は、あなたの考えを十分にまとめていません。やり直してください。

総評：

最初の下書きよりもよいですね。提案に目を通し、適切な修正を加えること。ちなみに、先生も近いうちにこのような日課を始めようと思っています。ありがとうございます！ 😊

設問解説

問1 1 正解-②

「コメント(1)に基づくと、どれが最も適切なタイトルか」 1

- ① 最高のウォーキング技術
- ② 習慣的な朝のウォーキング
- ③ ウォーキングと身体の健康
- ④ ウォーキングと心の健康

Walkingというタイトルはあまりに一般的で、本文で述べられていることを十分に伝えているとは言えない。本文の主題は「朝の日課として行うウォーキングが身心に与えるよい影響」である。したがって、正解は②。

ウォーキングの「技術」は本文で触れていないので①は不適。単にPhysical「身体の」とだけあり、Mental「心の」を含めていないので③も不適。反対に、Mental「心の」とだけあり、Physical「身体の」を含めていないので④も不適。

問2 2 正解-②

「コメント(2)に基づくと、どれが加えるのに最も適切な文か」 2

- ① 代わりに、ウォーキングではなく短時間の水泳も効果的であるかもしれない。
- ② しかし、たいていの人は最初の数歩で、元気が湧いてくるのを実際に体験する。
- ③ したがって、普段より早く起きることはよい考えである。
- ④ これは、朝のウォーキングにはあまり利益がないことを意味する。

第2段落の第3文 (Of course, not ...) 「もちろん、誰もが朝のウォーキングに出かける元気があるわけではない」は、「譲歩」として用いている部分であり、主

張はその逆の内容であるべき。したがって、正解は②。

他の選択肢を示すところではないので①は不適。「A。したがって、B」では論理的な展開を示すことになり、第2段落の第3文（Of course, not ...）の「譲歩」とはそぐわないので③も不適。fewer benefitsは本文の内容と矛盾するので④も不適。

問3 3 正解-③

「コメント(3)に基づくと、どれが加えるのに最も適切な表現か」 3

- ① その結果、
- ② それに対して、
- ③ さらに、
- ④ それにもかかわらず、

第4段落の第1文（Lastly, there are ...）「最後に、これらのウォーキングから得られる多くの健康上の利益もある」の具体的な内容として、第2文（With regular morning ...）があり、それに「補足／情報の追加」として第3文（Regular walkers tend ...）がある。したがって、正解は③。

第3文は「結果」ではないので①は不適。また「対照的に」でもないので②も不適。さらに、「逆接」でもないので④も不適。

問4 4 正解-③

「コメント(4)に基づくと、どれが下線部の語を置き換えるのに最も適切な説明か」 4

- ① より健康的な心の習慣を思いつく
- ② 周囲の物をよりはっきりと見る
- ③ 問題についてより楽に考えを巡らす
- ④ 自分の問題の原因を理解する

第5段落（In summary, adding ...）は、このエッセイの結論を述べるところであり、特に、第2文（It will energize ...）は、第2段落から第4段落で述べられた、朝にウォーキングすることの利点を述べている。help you mentallyは第3段落で述べられた become more creative ... on their morning walk「朝のウォーキング中により創造的になったり、問題をより簡単に解決できるようになったりさえする」ということであるから、mentallyをより具体的に表現している think through your problems with greater easeとなる。したがって、正解は③。

「心の習慣」は無関係なので①は不適。「周囲の物の見え方」ではないので②も不適。「自分の問題」は的外れであり④も不適。

【主な語句・表現】

(本文)

- easy-to-do「行いやすい」（複合形容詞）
- clarity「明晰さ；明確さ」
- regular「よく…する（人）；習慣的な」
- energize「…の活力を高める；…をより精力的にする」

(選択肢)

- alternatively「その代わりに」（文修飾の副詞として）
- boost動「…を高める；…を増大させる」

第8章

多角的情報を読解・
整理する英文（レポート作成）

1

全訳

あなたはユーススポーツについてのエッセイに取り組んでいます。以下のステップに従うこと。

手順1：ユーススポーツへの参加に関するインターネット上のさまざまな意見を読む。

手順2：ユーススポーツについての立場を明確にする。

手順3：追加の情報源を使って、エッセイのアウトラインを作成する。

▶ [手順1] さまざまな意見を読む

ジェシカ（高校校長）

学校スポーツのプログラムは教育において大きな役割を果たし、多様なタイプの生徒に成功体験の機会を提供している。これは今も変わらず事実であり、参加率も高い状態が続いている。しかし、道具一式、ユニフォーム、遠征で、その費用は多くの家庭にとって負担となっている。学校側が一部の費用を負担できるとはいえるが、それでもなお、多くの家庭が子どもをスポーツに参加させる妨げとなっている。このことは、ユーススポーツの恩恵を受ける機会がすべての子どもに等しく届いていないことを意味している。

ミゲル（中学校教員）

近年、特に若者にとって身体的な健康を維持することが難しくなっている。ユーススポーツは、現代のこうした問題に社会が対処する1つの方法である。しかし、身体的な健康に注目が集まる中で、スポーツの社会的な側面が見落とされていると感じている。スポーツを通じて、若者はチームメイトとの協力を学び、こうしたスキルは教室にも持ち込まれ、グループ学習の向上につながる。多くの生徒が教室内で社会的な面において苦労していることを考えると、ユーススポーツのこの側面は、身体面と同様に重要である。

ナオト（10代の子を持つ親）

わが家は最近、新しい地域に引っ越しした。最初、娘は新しい学校を楽しみにしていたが、友人を作ることが難しく、程なくして孤立感を抱くようになった。この孤立が学業にも影響し、娘は勉強への意欲を失っていっ

た。しかし、水泳シーズンが始まり、彼女が水泳部に入ったことで、すべてが変わった。何人かの友達ができたことは、社会的な面だけでなく、学業面にも大きな助けとなった。彼女がある集団に属することが、学校での成功に大いに貢献したと思う。

ティモシー（社会研究者）

かつては、大学のスポーツ奨学金が、裕福な層と貧困層との経済格差を埋める手段となっていた。それは、以前は、家族の所得水準に関係なく、すべての学生が努力を通じて技能を伸ばし、トップレベルの学生アスリートを目指すことができたからである。ところが今日では、学校外のユースプログラムが数多く存在し、専門的なトレーニングやコーチングを提供している。不運なことに、これらのプログラムは高額であり、中所得層および低所得層の家庭には手が届かない。このことによって、裕福な家庭の生徒が有利となり、私たちがユーススポーツでかつて享受した平等な機会は失われている。

ヴェネッサ（大学教員）

今日の世界には、かつてないほど多様なスポーツが存在している。これは、スポーツの定義が広がり、競技性のある知的活動もその範疇に含まれるようになったためである。「マインドゲーム」と呼ばれるこうした競技には、ボードゲームやカードゲームのほか、数学コンテストのような、より学術的な活動も含まれる。また、若者に人気なのがeスポーツであり、これは急速に成長し、現在では世界各地のトップ選手やチームが参加する大会も開催されている。ただし、これらのマインドゲームが、従来の身体的スポーツと同様に健康的かどうかについては、いまだ議論が続いている。

設問解説

「ユーススポーツをめぐる教育的意義と現代的な問題点」がトピックで、各話者の基本的な立場と、主な主張をまとめると、以下のようなになる。

話者	基本的立場	主な主張
ジェシカ	慎重・否定的	費用が重荷であり、多くの家庭にとって参加が困難である。
ミゲル	肯定的	協力やチームワークが学べ、学業にもよい影響がある。
ナオト	肯定的	友達ができて学業にもプラスになった経験がある。
ティモシー	否定的	裕福な家庭が有利になっており、平等な機会が損なわれている。
ヴェネッサ	中立・代替的視点	従来のスポーツ以外の選択肢（eスポーツなど）も考慮に値する。

問2 [2] 正解-①

「ミゲルとナオトのどちらもユーススポーツは [2] と述べている」

① 生徒が社会的スキルを育み、学業成績にもよい影響を与える

② 人気が高まっており、生徒が身体的に成長するためのよい方法である

③ 特に学業と運動を両立させる上で、生徒の時間管理に役立つ

④ 生徒がスポーツマンシップに含まれるさまざまな価値を学ぶ助けになることで社会を強くする

ミゲルの意見の第4文 (Through sports, young ...)

「若者はチームメイトとの協力を学び、こうしたスキルは教室にも持ち込まれ、グループ学習の向上につながる」、また、ナオトの意見の第5文 (Being able to ...) 「何人かの友達ができたことは、社会的な面だけでなく、学業面にも大きな助けとなつた」から、両者とも「社会的なつながり」と「学業面の改善」に触れている。したがって、正解は①。

② の physically 「身体的」は、ユーススポーツの効用と両者が考える「社会的なつながり」「学業面の改善」にそぐわないで不適。「時間管理」や「両立させる」という話はまったく出てこないので、③ も不適。「スポーツマンシップ」「社会を強くする」といった大きなテーマは出てこないので④ も不適。

▶ [手順2] 立場を決める

問3 [3]・[4] 正解-①・④

5 正解-②

「さまざまな意見を理解したので、あなたはユーススポーツについての立場を決め、以下のようなメモを書いた。 [3] ～ [5] を完成させるのに最も適した選択肢を選べ。（[3] ～ [5] のすべてに正解しなければ得点は与えられない）」

立場：ユーススポーツへの参加は必須にすべきではない。

- ・[3] と [4] の意見がこの立場を最も支持している。
- ・この2人に共通する主張は [5] ということである。

[3] と [4] の選択肢（順不同）：

- ① ジェシカ
- ② ミゲル
- ③ ナオト

④ ティモシー
⑤ ヴェネッサ

〔5〕の選択肢：

① 多くの家庭が一部のスポーツに必要な用具を購入する経済的余裕はもはや無い
② 経済的な事情により、すべての生徒がユーススポーツの機会を平等に享受できるわけではない
③ 公立学校には学校によるスポーツ・プログラムの予算がなく、不公平である
④ 裕福な家庭の生徒の方がスポーツで活躍する機会が多い

Participation in youth sports should not be required. (ユーススポーツへの参加は必須にすべきではない) というあなたの「立場」を支持する、否定的な意見を述べているのは、解説冒頭でまとめたようにジェシカとティモシーである。

ジェシカの意見の第3文 (However, with all ...) に「道具一式、ユニフォーム、遠征で、その費用は多くの家庭にとって負担となっている」とあり、最終文 (This means that ...) で「このことは、ユーススポーツの恩恵を受ける機会がすべての子どもに等しく届いていないことを意味している」とある。また、ティモシーの意見の第3文 (Today, however, there ...) に「ところが今日では、学校外のユースプログラムが数多く存在し、専門的なトレーニングやコーチングを提供している」とあり、最終文 (This gives advantages ...) で「このことによって、裕福な家庭の生徒が有利となり、私たちがユーススポーツでかつて享受した平等な機会は失われている」とある。したがって、〔3〕と〔4〕の正解は①と④(順不同)。

また、この2人に共通する主張は、Not every student can equally benefit from opportunities in youth sports due to finances. (経済的な事情により、すべての生徒がユーススポーツの機会を平等に享受できるわけではない) である。したがって、〔5〕の正解は②。

経済的な理由からスポーツに必要な用具が整わないという意見をティモシーは述べていないので①は不適。公立学校はスポーツ・プログラムに充てる予算がないという意見を両者とも述べていないので③も不適。裕福な家庭の生徒が学校外でスポーツの技術向上に有利な指導を受けられるという意見をティモシーは述べているものの、そのような生徒はスポーツで活躍する機会が多いとまでは述べていない。ジェシカも裕福な家

庭の生徒について述べていないので④は不適。

▶ [手順3] エッセイのアウトラインを作成する
エッセイ・アウトライン

ユーススポーツを社会的な動向に照らし再考する

序論

ユーススポーツ・プログラムが多くの生徒に恩恵をもたらしていることは間違いない。だが、以下の理由から、これらのプログラムは必修とすべきではない。

本論

理由1：手順2より（手順1の意見から得られた根拠に基づく）

理由2：(〔6〕), 資料Aの根拠に基づく

理由3：資料Bの根拠 (〔7〕) に基づく

結論

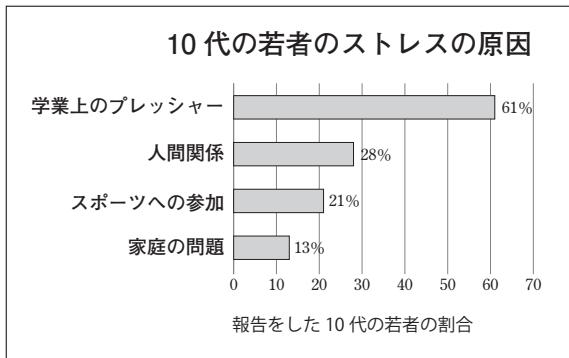
これらすべての要素を踏まえれば、ユーススポーツへの参加は、学校の教育課程において必須とすべきではない。

資料A

組織化されたユーススポーツは今なお高い人気を保っており、それは減速の兆しすら見せない傾向である。しかし、その熱気の裏に隠れているのは、参加者の間で怪我が増加しているという憂慮すべきことである。実際、米国では毎年350万人を超す若いアスリートがスポーツに関連した怪我で治療を受けている。大変憂慮すべきは、2020年から2023年にかけて、こうした怪我が年平均11.3%の割合で増加したという点である。この原因は何か。医師たちは、青少年がスポーツに参加する方法の変化がその原因であると指摘している。かつて、若いアスリートたちは年間を通してさまざまなスポーツに取り組んだが、競技の間にあるオフシーズンには休養を取っていた。これにより、身体をバランスよく鍛えることができ、必要な休息も得られていた。対照的に、今日では1つの競技に特化し、年間を通してトレーニングを行うという傾向がある。このことが、身体の偏った発達や疲労につながっている。これは、若いアスリートたちは特定の筋肉を酷使・消耗していることを意味し、つまり、筋肉が損傷しやすくなり、その結果、怪我的件数が増えているのである。

資料 B

ここ数十年にわたり、10代の若者のストレスレベルは上昇し続けている。2023年の報告によれば、毎日のようにストレスや不安に悩まされている10代の割合は、現在70%に達している。以下のグラフは、主な原因である学業上のプレッシャーと、その他の3つの一般的な原因を比較したものである。



問4 [6] 正解-④

「資料Aに基づくと、以下のどれが理由2に最も適切か」 [6]

- ① 新しいトレーニング方法によってユーススポーツは改善しているが、依然として怪我が多すぎる。
- ② 年間を通して多様なスポーツを行うことが、若年層の選手の身体的疲労につながっている。
- ③ ユーススポーツの専門化は競争の激しい試合を生んだが、それと同時に怪我の増加も引き起こした。
- ④ 近頃の若者のスポーツ参加のあり方の変化により、今日では怪我が増加している。

資料Aにおいて、第2文後半(an increase in ...)に「参加者の間での怪我の増加」、具体的には、第4文(Most concerning is ...)で「大変憂慮すべきは、2020年から2023年にかけて、こうした怪我が年平均11.3%の割合で増加したという点である」が指摘されている。第5文(Why is this?)、続く第6文(Doctors have shown ...)「この原因は何か。医師たちは、青少年がスポーツに参加する方法の変化がその原因であると指摘している」とあるので、正解は④。

①「新しいトレーニング方法によってユーススポーツは改善している」、③「ユーススポーツの専門化は競争の激しい試合を生んだ」は、いずれも本文に記述がないので不適。また、第9文の前半(today's trend is

...)「今日では1つの競技に特化し」から、「多様なスポーツを行う」は矛盾するので②も不適。

問5 [7] 正解-④

「理由3に対して、あなたは『ユーススポーツが10代のストレスレベルを上昇させており、したがって学校はそれらに制限を設けるべきである』と書くことにした。資料Bに基づくと、どの選択肢がこの主張を最もよく裏付けているか」 [7]

- ① 学業が10代の若者のストレスの主な原因である一方で、日常生活においてスポーツの参加がストレスになると感じている10代の若者も、ほぼ同数いる。
- ② スポーツが生活の中でストレスの原因になっていると感じる10代の若者が今後も増え続けるならば、スポーツは現在の家庭環境よりも大きな懸念事項になるだろう。
- ③ データによれば、学業、人間関係、家庭の問題は、現在のところスポーツへの参加よりも10代の若者のストレスにおいては重要度が低い。
- ④ 友人関係や学校でよい成績を収めなければならないことが主な原因である一方で、スポーツは約5人に1人の10代の若者にとって日常的なストレス要因となっている。

選択肢④のrelationships with friends「友人関係」、the need to perform well「学校でよい成績を収めなければならないこと」は、10代の若者のストレスの原因では上位の2つであり、項目としてはそれぞれグラフのSocial relationshipsとAcademic pressuresに相当しグラフと合致する。他方で、about one in five teens「約5人に1人の10代の若者」は、Sports participationがストレスの原因であると回答している21%と合致する。したがって、正解は④。

schoolwork「学業」は、グラフではAcademic pressuresに相当するが、10代の若者のストレスの原因で見た場合、これはSport participationと比べ約3倍なので①は不適。family situations「家庭環境」は、グラフではFamily issuesに相当するが、Sports participationはFamily issuesよりもストレスの原因として既に高い割合を示しているので②も不適。academics「学業」、relationships「人間関係」は、sports participation「スポーツへの参加」よりストレスの原因として高い割合を示しており、less of a concernと言えるのはfamily issues「家族の問題」だけなので③も不適。

【主な語句・表現】

(本文)

ジェシカ◆◆

with ... 「…が理由で」

sign ... up for ~ 「…を～に参加させる」

ミゲル◆◆

with attention on ... 「…に注目が集まる中で」（付帯状況の with）

ナオト◆◆

go a long way 「大きな役割を果たす」

ティモシー◆◆

wealth gap 「富の格差」

strive to - 「-しようと努力する」

beyond the reach of ... 「…の手の届かない」

ヴェネッサ◆◆

competitive 「勝ち負けを競う；競争のある」

be up for debate 「議論の余地がある」

(資料 A)

as ever 「いつものように；相変わらず」

show no sign of ... 「…の兆しを見せない」

hidden behind ... is ~ 「…の裏に隠れているのは～である」（～ is hidden behind ... の倒置形）

concerning 略 「気がかりな；心配な」

fatigue 「疲労」

exhaust 「…を疲れ果てさせる」

(資料 B)

stand at ... 「(数値が) …である；…を示す」

2

全訳

あなたは学校をペーパーレス化すべきかどうかについてのエッセイを書く準備をしています。以下の手順に従うこと。

手順1：ペーパーレス化の賛否に関するさまざまな見解を読み、理解する。

手順2：学校をペーパーレス化することについての立場を明確にする。

手順3：追加の情報源に基づきエッセイのアウトラインを作成する。

▶ [手順1] さまざまな見解を読む

アントニオ（経済学教授）

なぜこれほど多くの企業がペーパーレス化を進めているのか。かつて、企業はすべての書類を管理するために従業員を雇わねばならなかった。これには時間とスペースを要した。デジタル化することで、必要な従業員数が減るだけでなく、物理的なスペースも少なくて済む。加えて、企業がペーパーレス化することの一部として、キャッシュレス化も含まれている。現金を回収して銀行へ持っていくのに時間と資源を費やす代わりに、金銭関係の事柄はすべて電子的に処理できるのである。これらすべてにより、企業経営の財務面がより迅速かつ安全になる。

ヘイゼル（小規模事業主）

ペーパーレス化に利点があることは認めるし、インターネット化をさらに進めることに反対ではない。しかし、実際には思った以上に手間がかかるのも事実である。最新のテクノロジーやアプリを学び、ついていくだけでも十分に時間がかかる。そして、パスワードや、どのアカウントにどのメールや電話番号を使っているかを覚えておく必要があることも加えると、多くのことを心に留めておくことになり、それは私が毎日対処できる労力のものではない。

イツキ（大学生）

私は高校時代よりも大学生活をはるかに一層楽しんでいる。この大きな理由の1つが、授業の教材がどのように提供されているかにあると最近気づいた。高校では、教科書やノート、授業のプリントをバックパックに入れて持ち運ばなければならなかった。バックパックが非常に重かっただけでなく、私は大事なプリント